

令和5年度第1回南外地域協議会会議録

令和5年5月25日

南外地域協議会

令和5年度第1回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■委嘱状交付	2
■支所長あいさつ	2
■協議	3
1) 会長及び副会長の選任について	3
2) 会議録署名委員の指名について	5
3) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」について	5
4) 令和5年度地域枠予算事業実施計画等について	6
5) 大仙市地域公共交通活性化協議会委員の推薦について	8
6) 「若者チャレンジ応援補助金」事業について	9
7) その他	11
■閉会	14
■署名	14

令和5年度 第1回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和5年5月25日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 11名

伊 藤 伝 悦、 伊 藤 正 人、 伊 藤 悠、 伊 藤 真紀子
加賀屋 由 香、 風 口 宏 子、 佐 渡 敏 夫、 佐 藤 喜八郎
佐 藤 正 行、 進 藤 覚、 相 馬 静 華

■欠席委員： 3名

加 賀 正 夫、 今 野 徹、 高 寺 衛

■出席職員： 6名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長） 堀井 みわ子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長） 佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹） 菊地 明憲（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 支所長あいさつ
- 4 地域協議会の概要について
 - 1) 会長及び副会長の選任について
 - 2) 会議録署名委員の指名について
 - 3) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」について
 - 4) 令和5年度地域枠予算事業実施計画等について
 - 5) 大仙市地域公共交通活性化協議会委員の推薦について
 - 6) 「若者チャレンジ応援補助金」事業について
 - 7) その他
- 5 閉会
- 6 署名

(18時00分 開会)

○久米支所長（以下「支所長」と表記）より協議会委員へ委嘱状を交付

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

開会にあたりまして、久米支所長がご挨拶申し上げます。

○支所長

南外支所の支所長を仰せつかっております。久米と申します。よろしく申し上げます。

本日は公私ともご多忙の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さきほど委嘱状を交付させていただきましたが、このたびは地域協議会委員をお引き受けいただきまして、心より感謝申し上げます。

委員の皆様におかれましては、当市が掲げる「市民と行政との協働のまちづくり」の実現に向け、3年間の任期期間中、大変ご難儀をおかけいたしますが、お力添えの程、お願いいたします。

さて、この地域協議会は、平成17年3月の市町村合併に伴い、きめ細かな自治が引き続き行えるよう、旧市町村の8つの地域に「地域自治区」を設置し、それぞれの自治区に地域協議会を設けたもので、18年が経過しております。

この間、地域協議会は、市民の皆様と行政をつなぐ『中心機関』として、それぞれの地域の課題を自らの力で解決する仕組みづくりを進めていただくとともに、地域予算の活用や、地域の元気づくりに必要な拠点づくりの計画策定、市への提言などの取りまとめなど、委員の皆様には活発な活動を展開していただいております。この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げたいと存じます。

令和5年度が始まり、地域協議会も新たな体制でスタートをきることとなりますが、引き続き委員をお引き受けいただいた皆様におかれましては、協議会のリード役としてご尽力をいただきたいと考えておりますし、このたび新たに委員をお引き受けいただいた皆様におかれましては、協議会の活動をより一層充実させていくため、積極的なご意見・ご提案をいただきますようお願いいたします。

皆様ご存じのとおり、人口減少や少子高齢化が進む中、生活環境の変化により地域のつながりが希薄になっており、地域コミュニティの基礎となる町内会など自治組織の活力低下が懸念されております。このことはコロナ禍で様々な制約があり、運動会などのイベントが開催できなかったこの3年間でもっと顕著になっております。

市といたしましては、できるだけ速やかに通常の日常を取り戻せるよう、「市政は市民の皆様のために」の基本理念のもと、「市民の皆様が安全に安心して暮らせる、未来に希望が持てるまち」を目標に、市民の皆様と一緒に、地域の課題解決や活性化に取り組んでまいりますので、委員の皆様には、これまで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の協議会が実りあるものとなり、これからの地域発展に資する契機となりますことをご期待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心か

らご祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

○地域活性化推進室主幹

続きまして、本日出席しております市役所関係者を紹介いたします。

○支所長

今年度の1回目の協議会ということで、南外支所、地域協議会に関係する職員を紹介させていただきます。

【名簿により紹介】

○地域活性化推進室主幹

それでは、議事に入らせていただく前にこのたび新たに委員の委嘱を受けた方もいらっしゃいますので、地域協議会の概要について、事務局から説明させていただきます。

大仙市地域協議会委員の手引き（概要版）をもとに説明させていただきます。

【資料説明】

◇地域協議会の役割について（「地域協議会委員の手引き（概要版）P2～8」参照）

- ・様々な立場の住民の皆さん同士が、各地域で課題となっていることなどについて、より良い解決策を導き出していくための話し合いを行い、地域としての意見を取りまとめ、市長に意見を伝えるための役割を担います。

それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

本日の出席委員数は11名で、定数が14名となっており、2分の1以上の方が出席しておりますので、大仙市域自治区の設置等に関する条例第8条第3項の規定により、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議案は、その他を含めまして7件です。また、会議録作成のため録音させていただくことを、あらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手のうえ、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、会長がまだ決まっておりますので、会議の進行は支所長が行います。

○支所長

それでは、暫時、進行役を務めさせていただきます。次第に沿って、進めさせていただきます。

はじめに議題①会長及び副会長の選任について、協議いたします。

お手元の資料「大仙市域自治区の設置に関する条例」をご覧ください。会長及び副会長につきましては、条例第6条の規定により、委員の互選によって定めることとなっております。その決定方法について、どのように取り計らったらよいかをお伺いします。

意見はございませんでしょうか。

【事務局案という声】

事務局案という意見が出ましたので、事務局から選任案があれば、お願いします。

○地域活性化推進室主幹

事務局案としまして、会長にはこのたび再度地域協議会委員に就任された方の中から、前副会長の佐藤正行委員に、また副会長にはこのたび新たに委員に就任された方の中から、佐渡敏夫委員をご推薦させていただきたいと思います。委員の皆様のご検討をお願いします。

○支所長

事務局案では、会長に佐藤正行委員、副会長には佐渡敏夫委員とのことですが、ご意見ございませんでしょうか。

【意見なし】

ご意見等が無いようですので、本案で可決・承認でよろしいでしょうか。ご異議がなければ、拍手をもって承認とさせていただきます。

【全委員から拍手】

ありがとうございました。協議会の新会長には佐藤正行委員、副会長には佐渡敏夫委員と決定したいと思います。それでは、新会長に就任されました佐藤会長からご挨拶を頂戴したいと思います。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは、会長に任命いただきました佐藤正行といたします。

仕事は、南檜岡郵便局で働いております。前任の副会長というお話がありましたけれども、今から10年前に委員の指名を受けまして、そこから副会長という職を受けてスタートして10年になります。今回、4期目ということで悩んだところですが、色々考えてまた、再度という気持ちにいたりしました。地域協議会という委員の仕事といたしますか、使命を、地域のご意見を聴いて、南外地域を少しでも良くしていこうという気持ちを持っていただいている委員の皆様からご意見を頂戴しながら、この協議会で地域が良くなるような施策が出来ればと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○支所長

ありがとうございました。それではここで会議の進行について、新会長と打ち合わせを

させていただくため、暫時休憩とさせていただきます。

【進行について打ち合わせ】

これからの進行については、佐藤会長にお願いします。

○会長

それでは、大変不慣れではございますが、会議の議事を進行してまいりたいと思います。

議題②会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、議長が指名することになっております。今回は、伊藤伝悦委員と伊藤正人委員にお願いします。

続きまして、議題③南外地域彩色千輪プロジェクトについて、事務局の説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明】

◇南外地域彩色千輪プロジェクトについて（「ふるさとなんがいさいかいエリア」参照）

- ・地域協議会の役割を説明した際の地域を元気にするための必要な提案、その中で彩色千輪プロジェクトというものがあり、この事業を大仙市の各地域で進めています。地元にある公共施設の在り方と可能性を探り、地域の活性化に役立てていこうという取り組みです。地域ごとに持っている公共施設の中から、各地域で一つを選び、地域の拠点と位置付けて、施設の個性や特徴を活かした活用策を企画・立案し、実施するものです。南外地域では、「南外ふるさと館・南外民俗資料交流館・南外さいかい市」の3施設が隣接しているエリアを拠点に位置付けております。

■現状：少子高齢化の進行と若年層の流出で集落機能の低下が顕在化

課題：コミュニティの維持

■地域住民等の意見（住民アンケートより）

- ・拠点施設のそれぞれの特性を生かした催しの実施とそのPR
- ・拠点施設と観光資源との連携
- ・若者が参加しやすいまちづくりとまちづくりへの参画の意思がある住民の取り込み
- ・家族とのふれあいを第一とする住民性を基調とした取り組み

■全体構想：彩色千輪プロジェクトは、令和4年度から令和6年度までの3カ年で地域協議会が考えた、3つの地域活性化の方向性の実現を目指します。

- ・自立してコンパクトな南外
- ・子どもからお年寄りまで元気で安心な南外
- ・自然豊かで人が集まる南外

■令和5年度の具体的な取り組み

ハード事業 3件（拠点3施設案内看板のリニューアル ほか）

ソフト事業 8件（堀井徳五郎翁顕彰事業 ほか）

- 堀井徳五郎翁顕彰事業：旧南外村南檜岡地区出身で、昔話の語り部として専門家等に知られている堀井徳五郎氏が遺した資料や昔話を、民俗資料交流館に展示するとともに、地域づくりに活用する取り組みです。彩色千輪プロジェクトとして実施予定の「地域とつながるプロジェクト！」においても、南外中学校2年生を対象に同氏が遺した昔話を題材にした紙芝居を作成し、披露する予定です。

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手のうえ、発言をお願いします。

【発言なし】

この事業は、令和6年度まで続ける事業で、この後も委員の皆様から意見をいただきながら、進めていくことになると思いますので、近隣の方々のご意見も持ってきていただければと思います。

ないようですので、議題④令和5年度地域枠予算事業実施計画等について、事務局の説明をお願いします。

○菊地地域活性化推進室主査（以下「地域活性化推進室主査」と表記）

【資料説明】

◇令和5年度地域枠予算事業実施計画等について

（「令和5年度地域枠予算執行計画及び地域枠予算事業計画書」参照）

■令和5年度事業内訳（全22件、総額7,648,000円）

- 1) 行政主導型・・・7件（予算額：1,764,000円）
- 2) 市民協働型・・・7件（予算額：2,934,000円）
- 3) 市民主導型・・・7件（予算額：1,450,000円）
- 4) イベント型・・・1件（予算額：1,500,000円）

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手のうえ、発言をお願いします。

○佐藤喜八郎委員

予算の中で昨年度よりも減額になっている事業がありますが、減額になった理由があれ

ば教えてください。

○地域活性化推進室主幹

事業ごとの予算の減額については、今年度の地域枠予算として、令和4年度予算と比較し、事業総額で同額程度にするという方針のもと、総額としては変わりありませんが、新規事業の兼ね合いもあり、事業ごとの予算額を調整しております。減額となった事業に関しては、コロナ禍もあり昨年、一昨年実施できず、実績が止まっている事業を中心に調整させていただいております。

○佐藤喜八郎委員

南外地域桜守り事業について、毎年必要な事業だと思います。先ほど予算的な話もお聴きしましたが、必要なものは必要な予算を付けるべきではないかと思います。こちらの事業について、減額になっている理由を教えてください。

○地域活性化推進室主幹

桜守り事業に関しては、例年、雪が消えてからの実施となります。現在、予算としては前年度比より87,000円の減額となっておりますが、事業実施時期には他の事業の見通しが経っていると思われるため、ある程度調整が可能であると考えております。また、今後も専門業者の意見を聴きながら、必要な処置は行っていきたいと考えております。

○会長

よろしいでしょうか。ほかに質問はございませんか。

○伊藤伝悦委員

橿岡城址を守る会活動補助事業の説明の中で、守る会でガイドをしているというお話がありました。ガイドしてくれる人、案内してくれる人がいるということでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

橿岡城址を守る会のメンバーの中で、観光客等を対象に案内を行っていただける方がいらっしゃいます。昨年の実績として、生涯学習課の主催事業で歴史探訪ツアーという事業があり、約30名程度のお客さんに対して、守る会のメンバー2名で現地案内の対応をしております。

○伊藤伝悦委員

それは、現地に常駐しているということでしょうか。それとも、事前に予約等が必要でしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今のところは、一旦支所で事業内容等を聞いてから、守る会につないでいるという状況です。

○会長

ほかに質問、ご意見のある方はいらっしゃいませんか。

【質問なし】

今回、新しい仲間も増え、南外地域で地域枠予算として、意外と大きな予算が使われているということを感じられる方も多いと思いますが、地域を活性化、元気にするための事業として行いたいと思いますので、皆さんからご意見をいただきながら、新規事業に関しては増やしていきたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、ほかに質問が無いようですので、議題⑤大仙市地域公共交通活性化再生協議会の委員推薦について、市民サービス課長より説明をお願いします。

○堀井市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

大仙市地域公共交通活性化再生協議会の委員推薦について、説明させていただきます。

大仙市地域公共交通活性化再生協議会の役割は、地域の実情に応じた生活交通の確保、対策についての協議、調整など市内の生活交通全般に関する協議を行うものです。利用者団体、地域住民、交通事業者団体、行政で構成されており、各地域協議会の代表を委員として委嘱、または任命しております。この度の地域協議会委員の任期替えにより、新たに委員を推薦するものです。

○会長

ただいまの説明によりますと、地域協議会の代表として委員の中から1名を推薦しなければならないことのようにです。どのように選出したらよろしいでしょうか。

どなかた、やりたいという方はいらっしゃいませんか。

【意見なし】

意見がないようですので、事務局から選任案がありましたら説明をお願いします。

○市民サービス課長

事務局案といたしましては、民生児童委員としても活躍されており、地域の現状に詳しい伊藤伝悦委員をご推薦させていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○会長

事務局案では、伊藤伝悦委員を推薦したいとのことでした。皆様からご意見等ございませんか。

【異議なしの声】

異議なしという声がありましたので、本案は事務局案で可決させていただいてよろしいでしょうか。

【全委員から拍手】

ありがとうございます。それでは伊藤委員よろしく申し上げます。

続きまして、議題⑥「若者チャレンジ応援補助金」事業について、若者チャレンジ応援室長から説明をお願いします。

○新田若者チャレンジ応援室長（以下「若者チャレンジ応援室長」と表記）

【資料説明】

◇若者チャレンジ応援補助金事業について

（「若者チャレンジ応援プロジェクトについて」参照）

■事業概要：若者の地元定着、若者による地域の元気創出に向けた、人口減少及び少子化対策の取り組みのひとつとして、市と地元企業等が協力し、若者がチャレンジできる環境づくりを行っていく取り組みです。

■主な取り組み

1) だいせんL a b o

・企業や地域の活性化などに挑戦する若者の様々な相談に応じながら、総合的にサポートを行う窓口

2) 若者チャレンジ応援補助金

○チャレンジタイプ・課題解決タイプ

・対象者 18歳以上40歳以下の個人

若者が過半数の団体又は代表者となっている法人

〈ガバメントクラウドファンディング（GCF）を活用する場合〉

・対象経費 事業に要する経費等

・補助金額 上限200万円

〈クラウドファンディング（CF）を活用する場合〉

・対象経費 CF運営者へ支払う手数料等

・補助金額 上限20万円（資金調達金額の20%まで）

○ユースチャレンジタイプ

- ・対象者 中学校、高校、大学等の生徒・学生
- ・対象経費 事業に要する経費等
- ・補助金額 上限20万円

■実施状況

○チャレンジタイプ・課題解決タイプ

- ①若手農業者が挑戦するトータルアグリカルチャープロジェクト
- ②大仙市の発酵文化を生かしたKOJICLEARの国内外展開事業

○ユースチャレンジタイプ

- ①秋田修英高校生「修英“夢”チャレンジプロジェクト」
- ②大曲高校生「店舗出店×販売促進プロジェクト」

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明に対してご質問やご意見がありましたら挙手のうえ、発言をお願いします。

○佐藤喜八郎委員

今年はすでに反応や相談はあるものでしょうか。

○若者チャレンジ応援室長

今年に関しましては、起業を考えている方などから2件ほど相談を受けております。補助金につきましては、3件ほどお問い合わせいただいております。ユースチャレンジタイプについては、中仙中学校から活用してみたいと相談を受けております。

○会長

ほかには、ご質問ございませんか。

○伊藤伝悦委員

事業の紹介で、応援補助金を使って神岡のアキモト酒店の息子さんがKOJICLEARを開発して販売されているということでしたが、自店舗以外でも販売されているものでしょうか。把握されていたら教えてください。

○若者チャレンジ応援室長

販路については、すべて把握しておりませんが、市の特産品を紹介するチラシへの掲載やふるさと納税の返礼品などに充てるなどの協力を行っています。

○会長

ありがとうございました。そのほかにご意見やご質問ございませんでしょうか。

【質問なし】

ないようですので、皆さんのお近くにチャレンジしたい若者がいらっしゃったら、ご紹介いただきたいと思います。

それでは、その他として事務局から連絡事項などお願いします。

○地域活性化推進室主幹

それでは、確認事項といたしまして、2つございます。1つは開催日時についてですが、これまでは奇数月の第4木曜日午後6時からの開催としておりました。今回新たに委員になられた皆さんが多いため、希望等があればお聴きしたいと思います。

【意見なし】

特にないようであれば、現状のままでよろしいでしょうか。

【委員の多数がうなづく】

それでは、今年度も奇数月の第4木曜日午後6時からの開催としたいと思います。

祝祭日に重なった場合は、前後で調整いたします。

また、会長の日程を最優先させていただきますので、ずれることもあるかと思いますが、決まり次第、委員の皆様にも通知いたしますのでご了承ください。

もう一つは、会議資料の事前配布についてです。今回は、当日配布となってしまいましたが、基本的には事前に出欠を取りまとめ、出席される委員に対して開催日の1週間から10日前に資料を事前配布しておりました。

事務局といたしましては、資料配布にかかる事務量の軽減やペーパーレス化を図るため当日配布や電子メール等の利活用を検討しております。これに関して、ご意見等ございましたらお伺いしたいと思います。

○佐渡敏夫副会長（以下「副会長」と表記）

今の意見には大賛成です。ただし、それで受け取れない方もいると思いますので、そこを考量してどちらでもできるように進めてもらえば助かると思います。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございます。今の意見に沿うような形で電子メールでの受け取りが可能な方に関しては、電子メールで対応したいと思いますが、やはり紙の資料でないと難しいという方については、引き続きご希望に沿う形で対応してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

事務局からは以上となりますが、地域協議会の運営に関しましては、委員の皆様から積極的に出席していただきたいと考えております。極力つまらない会議にはならないように努力してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いたします。

○会長

ありがとうございました。そのほかにご意見やご質問ございませんでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

創作センターの解体と南小学区コミュニティセンターの建て替えが行われると伺っておりますが、創作センターで陶芸教室が行われていたと思います。陶芸といえば大仙市では、南外だけではないかと思えます。大変、大事な教室になっていると思えます。建物がなくなってしまうということは、しょうがないと思いますが、例えばそれを南小学区コミュニティセンターに持っていくとか、そういった工夫をされた方が南外のためには良いのではないかと思えますが、どのように考えられているかお聴かせください。

○佐藤公民館長（以下「公民館長」と表記）

陶芸教室ですが、地域協議会委員をされていた高橋恵子先生から、創作センターを利用し、公民館事業として長らく陶芸教室を開催していただいております。創作センターを解体するにあたり、先生のご都合やご希望もあり、既に陶芸教室は閉めております。現状、指導者がいないこともあり、今後の陶芸教室については実施することが出来ない状態です。

大仙市では南外地域だけ陶芸が盛んであるというお話ですが、販売を主として行っているところは、檜岡焼さん以外には存じあげませんが、陶芸教室ということであれば、西仙北地域や協和地域なども事業として実施しております。

○佐藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

創作センター解体の件ですが、施設自体は令和4年度末、3月31日で廃止としており、既に使うことが出来ない状態です。陶芸用の窯については、どなたか必要な方がいらっしゃれば財産活用課を通じて、譲渡等できないかというお話もありましたが、窯自体の移設にかなりの費用がかかる為、新規に購入、設置した方が安価ではないかという話もあり、今後の窯自体の利用については、現時点では予定しておりません。

○佐藤喜八郎委員

指導者がいないということで、跡形もなくなってしまうのではなく、南小コミュニティセンターへ展示スペースを設けたり、創作センターの窯がまだ使えるのであれば、施設をなんらかの形で残した方が良いのではないかと感じましたので、お考えを伺いたいと思います。

○農林建設課長

陶芸窯を南小コミュニティセンターへ移設するというのでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

窯の移設は、莫大な費用もかかると思いますので、そうゆうことではなくて、創作センターの陶芸窯を設置している部分だけを残して、今後も利用していくことはできないかという考えです。

○支所長

創作センターの状況につきましては、解体に向けて準備を進めている状況ですが、実際に解体する時期や別棟となっている陶芸窯の活用については、まだ決まっていないところです。窯に関して調べたところ、補助金を活用して購入したもので、まだ年数もそこまで古いものではないようです。創作センターの中にもまだ轆轤など、陶芸に関する物品が使える状態で残っておりますので、陶芸の里というのも活性化の一つの方策になるのではと、感じたところです。今、佐藤委員からこういった意見が出されたことは、議事録にも残し、提案については、私たち職員も、今後の活性化の方向性の一つとして捉えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

○会長

佐藤委員よろしいでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

はい。

【意見聴取等】

- ・加賀屋由香委員より、6月11日（日）開催の「教えて！菌ちゃん農法勉強会パートⅡ & 国光美佳先生のミネラル食育」の紹介

(19時45分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 伝悦

伊藤 正人
